

神戸市会議員(須磨区) せいいち
むらの誠一



「人は人の為に尽すを以って本分とすべし」

曾祖父 村野山人(神戸村野工業高等学校創立者)
の遺志を継ぎ政治家を志す

所属政党 無所属

所属会派 自民党神戸市会議員団

所属委員会 文教経済委員会

大都市税財政制度確立委員会(副委員長)

市会運営委員会

経歴

- 昭和49年2月2日 神戸市須磨区に生れる
- 須磨浦小学校 卒業
- 神戸市立高倉中学校 卒業
- とび職として働きながら、大学入学資格検定取得
- 芦屋大学(教育学部) 卒業
- 兵庫県議会議員 故伊田宏秘書
- 衆議院議員 砂田圭佑秘書
- 平成19年 神戸市会議員選挙 当選(2期目)
- 神戸南ライオンズクラブ 会長
- 神戸鹿児島県人会連合会 顧問
- 近畿鹿児島県人会連合会 顧問

外郭団体の役員報酬について

<平成20年度予算特別委員会 企画調整局 2008.3.3>

質1 むらの議員

外郭団体の役員報酬について、平成20年1月18日付けで行財政局から出された「外郭団体の役員報酬基準の通知」には“本基準については各団体における経営状況等を勘案のうえ適用されるよう配慮願います”とあり、局長級(再就職)の報酬基準は年収額で約830万円となっている。水道サービス公社の役員報酬については10%減額となっているが、他は概ね横並びの満額支給となっている。外郭団体の経営状況が赤字、黒字に関わりなく、報酬が同じというのは問題ではないか?

神戸市外郭団体における常勤役員の報酬基準 (元市局長級・部長級行政職員)

再就職 (年収)	再々就職 (年収)	再々就職 (年収)	再々就職 (年収)
元局長級Ⅰ 8,241,450円	元局長級Ⅰ 4,935,000円	元局長級Ⅱ 8,044,050円	元局長級Ⅱ 4,277,000円
元部長級 6,025,980円	元部長級 4,277,000円		

(平成20年1月1日現在)

答1 中村局長

市OBの役員報酬については、行財政局が目安となる基準を定めて、各団体はそれに準拠して支給を行っているのが現状である。株式会社や財団法人など形態・経営状況は様々であり、一律に判断するのは難しい面もあるが、市職員の再就職という意味で水準に差があると、かえって適切な人材確保が難しいという面から報酬基準を目安として示していると聞いている。

また、企画調整局としては各団体に対し経営状況を勘案して、役職員の人事費や経費節減などを実行し、また増収対策を講じるなど経営改善を進めるよう申し上げている。役員報酬に経営成績を反映すべきではないかというご指摘については、経営成績はもちろん重要な要素であるが、第3セクターの場合は利益追求だけが目的ではなく一定の政策目的があり、それらの評価を経営成績だけで考えるのはいかがなものかと思う。これらの要素を総合的に判断して定めるべきものと考えている。



質2 むらの議員

赤字、黒字団体に関わらず役員報酬が同じであると言う事は、市民を代表する市会議員としては納得しかねる。敬老バス値上がりの話がある中で、市民は本当に納得できるだろうか?

正式な答弁ではないが、行財政局からも先ほどの通知については、暗に横並びの報酬にすべきでないという意味を持っていると聞いているが如何か?

答2 中村局長

役員報酬の減額等については、例えば不祥事があったとか、経営を疎かにして赤字になった場合は、何をかいわんやだが、ごく常識的に一生懸命やっていて結果として赤字になった場合で、その赤字の原因はというと、構造的なものであったり、過去からの積み上げの結果や政策意図などもあるため、経営状況だけを見て一人の役員の責めに帰することは疑問に思う。

質3 むらの議員

現在の時勢を考慮して60~65歳の再就職に関して否定しているのではないが、謙虚な姿勢を見せるべきである。先ほどの答弁にあったように、構造的な問題というなら、誰が役員でも良い事になる。最後は各団体の判断というのはその通りだが、出資を行っているものとして、責任を持って行財政局と一緒に経営改善に取り組んでもらいたい。



答3 中村局長

今後とも人件費も含め行財政局と経営改善に取り組んでいきたい。

(議事録要約抜粋)

新体制でスタートしています!

平成20年6月の第2回定例市会より、むらの誠一 議員は大都市税財政制度確立委員会(副委員長)・文教経済委員会(委員)・市会運営委員会(委員)に選任され、新たにスタートしております。

文教経済委員会(常任委員会)

教育委員会、産業振興局、国際文化観光局を所管しています。

大都市税財政制度確立委員会(特別委員会)

大都市の実態に即応する税財政制度の確立を図るため、必要な事項の調査を行っています。

市会運営委員会

本会議の日程など議会運営に関する事を協議する委員会です。



大都市税財政制度確立委員会



文教経済委員会

文教経済委員会として行政調査



福岡市) ロボット関連産業の振興、ロボスクエアについて

ロボスクエアは、年間17万人が訪れる、見て、触れて、楽しめる体験型の施設であり、実際に体験工房やプログラミング教室には、多くの子供達が集まり学んでいた。製造による事業化ではなく、次世代の子供達の知的好奇心、科学への興味を育む意味では大いに有効である。



広島市



松山市

広島市)「青少年メンター制度」について

*メンター制度とは、人生経験豊かな大人(学生も含む)が子供と1対1での関係で、継続的・定期的に交流する、子供を支援する制度である。メンターとなる大人の登録は増えてきているが支援を受ける子供の希望は少なく、なかなか難しい問題があると感じる。

※メンター:優れた指導者・助言者

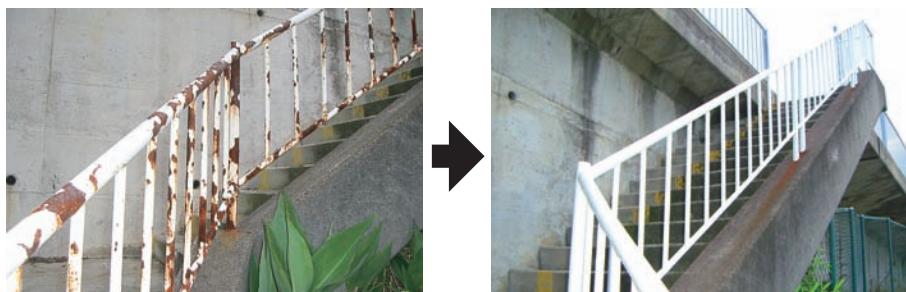
松山市)「坂の上の雲のまちづくり」について

司馬遼太郎さんの小説「坂の上の雲」の舞台である松山とその時代(近代国家をめざした明治)の意気込みをフィールドミュージアム(屋根のない博物館)として取り上げた点は、郷土愛を培い、まちのすばらしさを再発見することに大いに役立つと考えられる。

また松山城周辺を(センター)として、各地域(サブセンター)を結んで、かなり広範囲にわたって地域資源を発掘し、活用している。回遊性を高める取り組みは神戸でも考えられるのではないか。

(行政調査報告書要約抜粋)

お手伝いさせて頂きました



いつでも気軽にご相談ください。

TEL (078) 739-8889

<http://www.murano.gr.jp>



自由民主党神戸市会議員団 須磨区第2支部

神戸市会議員 むらの誠一事務所

〒654-0053 神戸市須磨区天神町3丁目2-45

FAX (078)739-8887